

第4回 長野広域連合広域計画策定委員会 会議録

【日 時】 令和3年1月15日（金） 午後3時27分～午後4時20分

【場 所】 ホテルメトロポリタン長野 2階「千曲」

【出席者】 委員7名

松岡英子委員長、黒田和彦副委員長、岩渕道男委員、沖 弘宣委員、
金井三平委員、堀込祐子委員、吉沢 正委員

（欠席4名 中村英三委員、高野 登委員、手塚里子委員、中澤聖子委員）

事務局7名

【議事内容】

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

（1）パブリックコメントの結果報告について

事務局：（資料1について説明）

副委員長：募集の結果、事務局のみ10件あったという考え方で良いか。これをどのように捉えるのか。広域連合の役割が住民にみえているかどうかということ、いつも考えてやった方がよい。ごみの問題についても、住民皆さんと無関係ではないということを知ってもらわなければならない。広域連合でやっていることは、住民の目線から遠くなってしまう。住民の皆さんに理解してもらうこと、丁寧に説明することが大事ではないかと思う。

委員長：広域連合の知名度があまり高くない。広域連合自体が住民への啓発などにあまり力を入れてこなかったのか、達成できていないのか。頑張ってくださいという意見と伺えた。

（2）広域計画答申（案）について

事務局：（資料2について説明）

委員：3ページ、4広域計画について、「広域計画」が2カ所あり、主語が二つあるように読めるので、どちらかにしたほうが読みやすいかと思う。

計画期間中の目標については、今後の方針及び施策と同じ内容と思われる。全く同じであれば、2回書かなくても良いのでは。

事務局：策定会議及び理事会から「計画期間中に達成を目指す目標を数値化できないのであれば、計画期間中に何をやるのか、より住民に分かりやすく示すべき」という意見があり、掲出したものである。

委員：重複感がある。別に表にまとめたらいかがか。

副委員長：数値では表現できない目標がある。また、今後の方向と目的は一緒であるのだから、このままでいいのではないか。維持していくのも目標である。

委員長：計画期間中の目標は必須か。

事務局：そうである。

委員長：計画期間中に、これは必ずやるという目標か。

事務局：そうである。継続していくものもあるが、取り組む姿勢を明確にしたものである。

委員：読んでいて繰り返しの感じを受けたが、もし質問があった場合は、そのように対応いただければと思う。

事務局：指摘のあった3ページは、2つ目の「広域計画」の文字を削除し文書整理する。

委員長：25ページに、事例集を出すとなっているが。

事務局：保険者が調査票に記載する特記事項の内容について、同じような疑義の確認・調整をする事務が繰り返されているため、より効率的な、事務及び審査判定に繋げていきたいという意図である。

委員長：良いと思う。具体的に作ったかどうかで評価できると思う。

30ページ、アスタリスクの説明は、同ページの下段に配置する方が良いのではないか。

事務局：そのように改めたい。

委員長：その他、何かあるか。

(意見・質疑なし)

(3) その他

事務局：(資料1「3広域計画策定に係る今後の予定」について説明)

委員長：その他に、何かあるか。よろしいか。

(意見・質疑なし)

4 閉会